

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	1	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興		1 林業の担い手の確保	
事業名	林業振興事業							
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費	
	細目	1	林業振興費		細々目	8	林業振興事業費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続		經常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
将来の木材としての資産価値を高めていくため、また森林が持つ水源涵養等多面的機能を発揮させるため、長期間にわたり継続して施業を実施していくことが不可欠。山陽小野田市森林施業計画に基づき造林事業を実施していくこととしている。		森林法に基づく森林施業計画に従って行う造林で、国及び県の造林補助金を活用しながら、間伐・除伐・新植等を実施する。		業務委託契約を締結し事業実施。造林補助を申請。	
活動指標			成果指標		
計画的な造林事業の実施			事業実績		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
-		-		100	
		間伐 12.81ha 除伐 0.49ha 造林 0.33ha		間伐 12.81ha 除伐 0.49ha 造林 0.33ha	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	6,000	5,972,400	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )	1,800	2,467,520
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		4,200	3,504,880	
合計		6,000	5,972,400	合計		6,000	5,972,400
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
単年度のみならず、継続して造林事業を実施していくことが肝要。	

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興	1	林業の担い手の確保		
事業名	森林整備地域活動支援交付金事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	1	林業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			( )		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施策計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、国が県及び市を通じ森林整備地域活動支援交付金を交付し、地域における活動の確保を図る。		森林情報の収集活動・境界の明確化・施業区域の明確化作業等、国の実施要領に定める対象行為を行う交付対象者に交付金を交付。		実施要領に基づき協定を締結し、地域活動を実施。			
活動指標			成果指標				
協定の締結			地域活動の確保 (施業実施区域の明確化作業)		成果指標の到達度(B/A)		
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2件 協定参加者33名		2件 協定参加者33名		210.90ha		210.90ha	
						100	
						%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	交付金	1,050	1,001,500	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )	525	500,750
					県支出金 ( )	262	250,374
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		263	250,376	
合計		1,050	1,001,500	合計		1,050	1,001,500

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	314,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策
なし		なし		

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	農林水産課	農林係	No	3
-----	-------	-----	----	---

施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興		1	林業の担い手の確保				
事業名	造林事業補助金											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費		目	2	林業振興費	
	細目	1	林業振興費		細々目	1	林業振興事業費		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)			( )						予算種別			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
造林事業を実施した森林所有者へ事業の経費の一部を補助金交付規則に基づき10分の2以内で補助	事業の経費の一部を補助することで、森林施業を推進	流域育成林整備事業等造林事業を実施した森林所有者に対し、補助金交付規則に基づき補助金を交付		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
森林所有者の森林施業を推進		事業量		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	139 %
-	-	補助対象額625,860円 施業件数14件 施業面積10.55ha	補助額450,000円 施業件数14件 施業面積10.55ha	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	450	450,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	( )	
					県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		( )	450	450,000
合計		450	450,000	合計		450	450,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	農林水産課	農林係	No	24	
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)			
12 魅力と活力ある産業の振興	4 林業の振興	2	環境と調和した林業の育成		
事業名 市有林造林事業					
款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
細目	1 林業振興費	細々目	1 林業振興事業費	会計種別	一般会計
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )			予算種別	継続 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
5カ年施業計画(H18~H22)に基づき、市有林の保育事業として間伐、枝打ち、除伐を行う。	将来の木材としての資産価値を高め、また森林が持つ水源涵養等多面的機能を発揮させるため、長期間にわたり継続して施業を実施していくことが不可欠。山陽小野田市森林施業計画に基づき造林事業を実施していくこととしている。  対象面積は施業計画上の森林のうち人工林 126ha	業務委託契約を締結し事業実施。造林補助を申請。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
計画的な造林事業の実施		①市有林の経済林としての価値の向上 ②市有林の整備率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	① 0 ② 100 %
間伐 59.13ha 枝打ち 28.62ha 除伐 8.20ha	間伐 38.25ha 枝打ち 14.31ha 除伐 1.15ha	① 126ha ② 13.63ha	① 0ha ② 13.63ha	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	6,000	5,972,400	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )	2,400	2,467,520
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		3,600	3,504,880	
合計		6,000	5,972,400	合計		6,000	5,972,400
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
造林事業は長期間を有するため毎年継続して行うことが重要であり、市民共有の財産を守り育てることが将来の市民に対する責任である。	継続的な事業を実施する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	指標では表すことが難しいが、森林の持つ多面的な機能を保つことに役立っている。
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	4	林業の振興	3	林業の基盤の整備			
事業名	森林整備加速化・林業再生事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	8	林業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地域における間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図ることを目的とした国庫補助事業でH21~H23を事業期間とする		地域における間伐等の森林整備の加速化と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図ることを目的とし、林内路網整備等を実施。		県内示の中で、県補助金交付要綱、実施要領、事業評価実施要領、県作業道開設基準等に従い、作業路・基幹作業道を開設	
活動指標			成果指標		
-			事業量		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)	
-	-		基幹作業道1500m 作業路1500m	基幹作業道900m 作業路1000m	
					63 %

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料(部分払)	5,825	2,882,250	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
	繰越				県支出金 ( )	5,825	2,882,250
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		0	0	
合計		5,825	2,882,250	合計		5,825	2,882,250
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課	題	改善策
なし		なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	・次年度繰越
-----	--------

## 平成22年度 事務事業評価シート

部署名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興		4	林業の振興	3	林業の基盤の整備		
事業名	有害鳥獣捕獲事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
	細目	1	林業振興費	細々目	3	有害鳥獣捕獲事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			( )		予算種別	継続	経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農作物被害の原因となる有害鳥獣の捕獲を猟友会に委託。近年は住宅地周辺にも出没があり農作物被害だけでなく人的被害も危惧される状況になっており、出勤回数が増加		猟友会山陽支部・小野田支部へ駆除を委託。		業務委託			
活動指標			成果指標				
発生予察に基づき捕獲方法、捕獲従事者を決定、積極的な捕獲の推進を図る			捕獲数		成果指標の到達度(B/A)		
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
-		-		-		イノシシ45頭 カラス74羽ほか	
						%	

## 2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	1,166	1,166,000	財(源割内合訳)	国庫支出金( )		
	補助金	27	27,000		県支出金( )		
					地方債( )		
					その他( )		
			一般財源( )		1,193	1,193,000	
合計		1,193	1,193,000	合計		1,193	1,193,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
従事者の減少・高齢化 生息数・出勤回数が増加しており、防除も必要だが、駆除が最も有効な手段であり駆除活動を活発にするためにも委託料の増額が必要	予算の増額

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--